

## 令和3年1月 定例教育委員会 会議録 要旨

### 1 日 時

令和3年1月28日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時49分

### 2 場 所

市役所西館 大会議室

### 3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 大庭委員 今村委員 飯盛委員 荒牧委員 白木原委員 吉田委員

欠席者 なし

### 4. 会議出席職員

山口教育部長 江頭学校教育担当部長 高塚教育総務課長 西村保育幼稚園課長 森永生  
涯学習課長 相原文化課長 西教育総務課副課長 山下教育総務課庶務係長

### 5. 傍聴者

なし

### 6. 教育長の報告事項

- ・ちょうど9時30分にウグイスの鳴き声が全館でしているが、1時間置きに換気をする目安として鳴っている。
- ・ちょうど新年が始まって1箇月がたとうとしている。新しい年がどんなふうになるのか、この1箇月を見ながらも希望の年になればと思っている。
- ・昨年1年間を振り返ると、新型コロナウイルス感染症というのが常にあり、その対策をしながら様々な事業を展開してきている。しかし、年末年始、新年を迎えても全国的に感染が拡大し、11都府県に緊急事態宣言が発令されている。若干の収まりが見られるかもしれないが、引き続き厳しい状況。
- ・昨日までの佐賀県の陽性感染者数は931例で、間もなく1,000事例。小城市の場合は、昨日までで65例。昨年8月に30人を超え、ほぼ半数は去年8月にあったので、1月だけを見てみると、昨日までで県内で463件、小城市は10件で、割合的には非常に少ないが、ここ数日出ていることについては気がかり。
- ・未然に防ぐために、特に小・中学校、幼稚園、保育園を用心して休まれる方が多い。
- ・今回の第3波の特徴が若い人の感染が拡大しているということで、特に佐賀県でも保育園、高等学校にクラスターが出て、部活動等での感染が見られる。家族内感染から部活動に来ているのかは分ないが、子どもたちの動きが出てきている状況で、年末年始の各スポーツ大会でも後で感染が出ているという状況が見られる。
- ・気がかりなのは人権的な問題で、今回、高校で感染者が多く出たと報道がなされたすぐ、学校に対しての誹謗中傷などある意味差別的な発言も多くあったということを聞いている。現実はまだそういう状況があるなとつくづく思った。
- ・先日、小城市のほうに「小城市役所の皆さんへ」と小学生から、ねぎらいの言葉、励ましの言葉、感染症対策についての温かいメッセージが書かれたハガキが届いた。1枚の、1人の子どもがこの一言だけでも私たちは元気をもらう。こういう子どもがいるということをしっかり受け止めて、人権教育、人権の啓発をしなければいけない。子どもが書いたこの一言だけでも僕らは力

を得る。逆に、誹謗中傷はマイナスしかない。このことを私たちは訴えていく必要がある。

・今年も昨年の経験を生かして、多くの知恵を出して、工夫しながら「新しい生活様式」の中から新しい教育、文化を創造していかなければいけないと思いを新たにしたい。

・小城市教育委員会が目指す城創伝心という人づくりのために、今できること、今しなければならぬことを確認しながら、全職員チーム一丸となって一つ一つの事業について、まずは市民の皆様へ理解と協力を得ながら進める必要がある。

・課題解決のために、まず私自身が子どもたちや市民の皆様方の笑顔、または生き生きとした教育活動をイメージしながら、誠意を持って取り組んでいきたい。

・4日、執務始め式、経営戦略会議の開催。

・5日、6日、東部教育事務所長の面談、校長と教育委員会と三者で面談。

・6日については、東部教育事務所管内の教育長会だったが、オンラインで開催。教育長会のオンライン会議は、全体では初めてだったと思う。

・7日、当初予算の教育委員会勉強会、12日に当初予算の市長査定が終了。

・8日、第3学期の始業の日だったが、大雪で砥川、牛津小学校、牛津中学校は臨時休校、ほかの学校については通常通りまたは、始業時間を遅らせて、始業式を行った。課長副課長会議、佐同教第3回幹事事務局研修会の開催。

・9日、第70回社会を明るくする運動作文発表会が、大雪のため中止。小城・多久地区の保護司会の主催で行われている。今年は、小学校で作文に応募された方は小城市で7校、153名。多久市は7名。中学校については、小城市内は3校で55名、多久市が2名で、217名の応募のうち、208名が小城市の子どもたちからの応募だった。入賞者については、小城市から7名入賞で、発表会自体は開催されなかった。

・10日、成人式の開催。天候の面、コロナの面も心配したが、無事に開催をして、400人弱の参加が市内の成人者の中であっている。恩師の先生方へ出席をいただきお言葉をいただいた。

・13日、経営戦略会議と新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催。

・15日、学校給食運営委員会が牛津小学校で開催。部落解放同盟佐賀県連合会の旗開きは中止に。

・20日、定例の小・中学校長会。

・21日、議員勉強会が開催。教育総務課と文化課で3件を報告。教育委員会佐賀県連絡協議会で、学級編制または教職員の配当等について、本格的にスタートした日。このときに県の落合教育長が話されたことを3点ご紹介したいと思う。

・1点目が主に県立高校のことだが、唯一無二の学校づくりを推進していきたいと。この中で、県外に流出している生徒が多いが、逆に、特色を持って県外から県内の県立高校に入学者を増やしていきたいという意向で話をされた。

・2点目、プロジェクトEプラスということで、特にGIGAスクール構想への市町への支援をやっていききたいと。佐賀県は高校もICTが進んでいるので、これを小中高で組んでやっていき、学習そのものに成果を上げたいと。英語の成績が47都道府県で46番という、この英語力をとにかくアップしたいということで、GIGAスクール構想における学習の成果を上げていききたいという話をされた。

・3点目が部活動の指導について。2024年に国スポが佐賀で行われるが、学校と地域連携強化拡大と、昨日の社会教育委員の会議の中で出たが、少年少女のスポーツも十分関係してくると思うが、競技力の向上ばかりではなく、生涯スポーツを目指した推進をしていく。教職員の負担も多いが、そういう力を求めていききたいという話をされた。これは中体連や競技団体、地域、市町の協力も必要という話をされた。指導者の問題になってくるが、我々にとっても大きな課題だと思っている。

・中教審の答申が新聞発表等あり、26日火曜日に出されている。高校関係が多かったが、まずはICTの利活用について、全国的に高校はあまり進んでいないということで、高校まで含めた小

中高のGIGAスクール構想の環境整備を整えていきたいというのがまず1点目。

・2点目は2020年度をめぐりに小学校の高学年の教科担任制を導入していくと。現在、佐賀県の場合は英語専科、理科専科がある。それと、少人数TTの中で算数、数学。今後予想されるのが高学年の外国語、理科、算数の教科担任制というのが来年度2022年度をめぐりに出てきている。

・県立の特別支援学校の設置基準で、通常学校に特別支援学級が増えてきている実態もあるが、特別支援学校の受け入れも厳しくなっているので、この設置基準も策定してもらいたいと。

・あと高校関係の普通科通信教育で、萩生田文部科学大臣に答申がなされている。35人学級のこともあるので、学級の人数が少なくなるのはいいが、問題は指導者の確保、資質などになってくるだろう。新聞を見ていたら、「教員になりたい市をつくる」ということが書かれていた。今、先生というのが子どもたちのなりたいたい職になっているか。これを見直して、本当に先生になりたい子どもたち、意欲を出して教師を目指すという職にしていけないと、確保は難しいと思う。少子化になってきている状況で、夢は小学校の先生、中学校の先生、保育園の先生という子どもたちが現実的に断念してしまうような状況にならないように、切実な人材確保、育成というのは課題というのを、こういう答申を見ながら大きく危惧をしている。

・21日、第4回小城市青少年育成市民会議の常任理事会が開催。令和3年度の主要行事の日程、今年度中止になった子どもクラブ発表会の報告の仕方、または今後の事業の持ち方について意見交換がなされた。事業としては、子どもクラブ発表会は継続してやるが、子どもクラブの発表会の順番ややり方については相談しながら柔軟にやっていくとなっている。

・12月に各小・中学校から「早寝・早起き・朝ごはんカレンダー」の「わが家のスマホルール」についてのアンケートがなされている。この結果については常任理事会に出されている。

・この日は私立高校の前期入試。

・22日、佐同教の理事研修会、佐同教研究大会の準備委員会、東部管内の教育長協議会の開催。来年度の佐同教の大きな行事の日程、研究大会についての話合いがあっている。

・24日、モデル子どもクラブは中止。

・27日、第4回目社会教育委員の会議で意見交換会を行った。改めて少年少女のスポーツ活動の指針を柱にどうしていくのかの意見交換会ができて、ありがたく思っている。

・当日、学校給食センター改築事業の選定審査委員会、1回目が開催。委員としては、学識経験者や専門の知識を持たれてある方が4名、保護者代表が1名、行政から3名で8名の委員会になっているが、昨日は審査基準についてのことについて、それぞれの専門の立場から活発な意見が出ている。今後、審査委員会を進めながら進めていくということになる。

・28日、定例教育委員会。

・今後の予定としては、2月3日私立高校の後期の一般入試。翌日4日県立高校の特別選抜入試。2月7日に予定されていた、第26回高田保馬博士をたたえる会は、コロナ禍で中止。各小・中学校のほうに表彰をしていただき、三日月小・中学校の発表を予定している児童・生徒については、各学校で発表会を開催していただくということで、この後の行動で出番をつくっていただくような話になっている。ドゥイングのほうでは展示をするということで予定をされている。

## 【意見・質問】

### ○B委員

社会を明るくする運動作文発表会の応募状況について報告があったが、小城市はかなりの小・中学生が応募をしている現状。このことは非常に大事なことだと思う。やはり小学校のときから社会の流れや時事問題、そういうことをその年齢なりに受け止めて、自分でどう感想、感じを持つかということは大事なことで、それが深い学びへつながっていく要素にもなる。

そうした中で、小城市でこれだけの応募があるということは、うれしいことであり、こういういいところはもっと伸ばしていければと思う。

そういう意味でも、小城市の子どもたち、小学生、中学生が社会にこんな深い関心を持つためには、入賞者は7名と言われたが、少ない感じがする。立派なものじゃなくていいので、入賞者の数をもっと増やして、子どもたちが頑張ろうと思えるようにつくっていただければと思った。

#### ○教育長

子どもたちは社会の一員であるという自覚を持って作文に取り組んでいる。毎年、作文を発表される子どもたちの話を聞くと、子どもの考えは貴重で、大人の私たちが改めて見直さなければいけない行動や、大人の規範意識についても発表がある。応募している子どもたちはみんな社会の一員として書いている。佐賀県保護司会連合会会長表彰というのが一番大きく、1名。佐賀保護観察所所長表彰が5名。小城・多久地区の保護司会会長表彰が2名。なので、保護司会の方に今の意見を可能であれば、保護司会会長さんの表彰あたりを小城・多久地区のほうで検討していただけるのかどうか…

#### ○C委員

社会を明るくする運動作文発表会の表彰枠が7名ということで決まっており、1つ小城・多久地区の保護司会会長賞を、一枠増やして8名の表彰ということでさせていただいている。

#### ○B委員

もう少し入賞者の数を増やしてやれば、広がってすごくいいと思う。

#### ○C委員

持ち帰って検討させていただく。

#### ○教育長

賞の話であるが、今回中止になった高田保馬博士をたたえる会の表彰者は非常に多い。また、ドゥイグ三日月のステージ上で賞をもらうことに対して、顕彰会の皆様方も、子どもも喜ぶし、見ておられるお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも表彰式には結構来られるので、ぜひ実施したいということと言われたが、今回は最終的には中止になった。

賞については、子どもたちが頑張ったところを認めて褒めてあげるということは、やっぱりいいことなので、どんどんやるというわけにはいかないが、それに適した賞をあげて、力をつけて、また次につなげていただければと思っている。

#### ○B委員

また、別の視点から、8名ということなので、それに準ずるようないい作文を書いている子どもたちの名前だけでもいいから、社会を明るくする運動の出版物ではないが、何かそういうところで顕彰していただければと思う。物じゃなくていいので、こういうふうを考える子どもたちがいますよと、お金がなるべくかからないように、本人が喜ぶようなことでもいいなと思っている。

#### ○教育長

保護司会のほうに、可能などころで何ができるかということをお話させていただきたいと思う。

#### ○E委員

社会を明るくする運動作文発表会に携わる一員として、保護観察所の賞は増えなくても、せめてセンター長の賞を増やせればと思う。ただ、保護観察所のほうの賞の枠も1名でも2名でも増やすことができるように、お願いして、一つの意見としてお伝えしたいと思う。

それから、今年の小城市の成人式に出席させていただいた。コロナによりいつもの半分ぐらいの出席者ではないかなと心配をしながら行ったが、こういう会をこのコロナ禍の中で開催していただいたことに感謝申し上げる。

中学校のときのビデオが流れたが、あの子たちが、今ここにいて、女の子たちは華やかで、男の子は輪の中に入れる子はいいんですけども、1人、2人、やっぱりぽつんとしている男の子もいらっしやっただ。それでも、地域の成人式に来てくれるということが、私はこんなに進んでいる世の中でもこの子たちはこの会に来たかったんだと思ったら、本当にやってよかったなと痛感した。

## 7. 議 事

### 第1 議決事項

#### 【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

#### 【意見・質問】

なし

#### 【結果】

承認

#### 【議案第22号】

小城市立小中学校夏季休業期間中の学校閉庁日の期間の変更

#### 【説明】

◇学校教育担当部長が説明

提案理由として、職員の勤務時間、休暇等に関する条例において、教職員の夏季休暇が3日間から5日間と変更になったことに伴い、現在実施している夏季休業期間中の学校閉庁日の期間を変更するもの。

この夏季休業中の学校閉庁については、2018年度より実施しており、8月13日から15日の3日間で行っていた。ところが、今年度より教職員の夏季休暇が3日間から5日間に延長となり、校長会のほうからも要望があり、協議した結果、2021年度、令和3年度、来年度以降の夏季休業中の学校閉庁については、曜日にかかわらず、8月11日から17日の7日間で実施したいと考えている。

8月11日から17日までの7日間のうち、土日を除いた5日間については、夏季休暇等で教職員は休むこととなり、学校の働き方改革にもつながるものと考えている。

#### 【結果】

承認

## 8. その他

(1)教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

申請なし。

#### 【質問・意見】

なし

## 【結果】

了承

(2) 令和3年の小城市成人式の参加状況について

◇生涯学習課長が説明

今回、参加者数については、参加予定者数は508名だった。コロナ禍でもあったが、参加実数、380名の参加をいただいた。

昨年と比較して、こういったコロナ禍でもあり、実際、参加予定者数も少し違ったと思うが、小城会場、三日月会場は減少しているが、牛津会場、芦刈会場については参加率が上昇している。

外国人の参加者数は、小城会場で1名参加。今回初めての取組のリモート会場の保護者様等のご出席はおおむね参加者実数の半数。非常に好評のうちに終わったと認識している。

ただ、今回初めて行う形式であったので様々な反省点もある。担当者会等で反省点を踏まえて、来年度どう行うのか考えていきたいと思っている。

### ○B委員

今の二十歳ぐらいの成年というのは、生きていくことに不安感だとか自信がないとか、そういう人もかなりいるんじゃないかと思う。また、夢にあふれて邁進している成人もいると思うが、えてして自信がないというような人たちに、たった一言、冊子とか看板に、「若者は社会の宝である」という言葉でもワンフレーズ、ぼーんとしたものを出して、それを見た若者は、俺は宝なんだということで、下を向いていた気持ちが、頑張ろうというような気持ちになるといいなと思うので、そういう成人式をやっていただければうれしい。

### ○教育長

今後の様々な式典または行事のときに、どういう視覚で訴えるのかも含めて検討していただければと思う。

### ○F委員

どの会場も恐らく感染防止対策をしっかりされての開催だったと思う。その準備等、事務局の皆さんは大変だったろうなと思っている。

今年は、保護者は別会場でリモートでの参加という形だったと思うが、これは非常によかったと思う。自分たちが成人式を迎えた頃は、保護者が会場に来ることは多分なかったように記憶しているが、時代の変化で親も我が子の成人の様子を見たいというのは分かる。今回このリモートでされたことで、会場内は静かに粛々と式が進められたんじゃないかと思う。多分、保護者も会場の中に入りたいという要望もあると思うが、調整しながら、来年度以降もリモートでの参加継続を検討されてみたらどうかと思った。

### ○教育長

貴重な意見として検討していきたいと思う。成人式の在り方については、様々な課題があり、今後どうなってくるのか分からないが、中学校区単位というのも非常に大事にしなければいけないことでもあるので、コロナ禍、または人数、中学校区、町区、大きな課題を抱えているので、そのときに応じて適切に開催できるように担当課としても検討していただろうと思う。

#### ○E委員

滞りなく式は終わったが、過去には、晴れ着を持っていないとか、華美になり過ぎないように、夏に行われた成人式の時代もあったと思う。今回も、行きたいけど、晴れ着がないとか、あの子にいじめられたから、行きたくないような行きたいようなとか、子どもたちによってはそういう問題がある子もいたんじゃないかと思う。だから、華美にならない、そういう子どもたちも参加できるような成人式であればいいなと今感じた。

#### ○教育長

晴れ着については、今までのいろんな経緯もあるし、何年か前から予約をしなければいけないという実態もあるし、大きな社会情勢、状況についても変わってくると思うので、参考に、意見として聞きたいと思っている。

#### ○D委員

私は三日月会場、小城会場に案内が来て行かせてもらった。両方の会場とも、たくさんの成人された方々の参加があってよかったと思った。このコロナ禍の中で、成人された人たちは、いろんなことを考えて成人式に参加されていると思う。だから、いつもの成人式よりは、より一層成人式に臨む気持ちが強かったというか、覚悟の上でとか、対策をしっかりしてとか、本当に一人一人しっかりした責任を持って臨まれたと思う。

成人式の後2週間後ぐらいに成人者の人たちとか、それに関わる人たちの感染者が出るんじゃないかとちょっと心配していたが、全国的にも全くそういうニュースはなかった。私は今年の成人式に臨まれた人たちは本当に大人としての自覚をより一層持って臨まれたんじゃないかと思い、安心したというか、感心したというか、よかったなと思った。

#### ○教育長

我々もコロナのことについては心配をしていた。成人者については、恐らく学生、または社会人、今年一年いろんな思いをしながら過ごされたと思うので、そういう思いを大事にしながら節目のときを迎えられて、その式典が開催できたということは本当によかったと思っている。

それと、私は牛津会場に行ったが、実行委員の皆様のお思い、意識が非常によく、この人たちが中学校のときの思いを大事にしながら今まで来ているという、ふるさとや学校を大事にしている実行委員の姿を見ながら、ちょっと感心をした。こういった自主的なことを中心に考えていかなければいけないと思った。

それと、成人式については教育委員会の中でも話をしているが、来年4月から民法改正があるので、令和3年度の成人式については成人式という形になると思うが、令和4年度は二十歳の集いとか、そういう形で開催するので、正式には成人式というのは来年1月だけ。このことについては令和3年度に入り、議会のほうにも報告をして、一般にも公開をするような形を取りたいというふう考えている。2022年4月から民法が改正されて18歳の成人になる。

#### 【質問・意見】

なし

#### 【結果】

了承

## 9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 2月25日(木) 午前9時30分～

【場 所】 小城市役所 西館2階 2-6 議室

## 10 議事【非公開】

### 第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について(非公開)

【承認】

### 第2 協議事項

【協議第9号】

就学援助(準要保護)の認定について

【承認】

### 第3 報告事項

【報告第46号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第47号】

教育委員会事務局職員の休職について

【了承】